若年者　研究

**１**、若年健常者における無彩色配色の情報提供においては背景が白、文字が黒でコントラストが75％以上で有効。

・背景が白、文字が黒の場合(ポジティブ配色）、コントラストが低下するほど可読性（1文字あたりの平均黙読時間）が低下する。

・背景が黒、文字が白の場合（ネガティブ配色）は可読性の個人差が大きい。

→ポジティブ配色ではディスプレイ全体の強度が高くなるため、瞳孔径が小さくなり、可読性が向上する。反対にネガティブ配色では瞳孔径が大きくなり可読性が低下するのではないかという考察。

→時間が経過すれば、ポジティブ配色よりネガティブ配色のほうが視認性が高いという考察。

→背景色が白色の場合、輝度が高くまぶしさを感じるという考察。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ieejeiss/128/7/128\_7\_1058/\_pdf/-char/ja

**２**、背景色と文字色のコントラストが低下すると、注視時間が長くなり、※サッカードが小さくなり、一度に知覚認知できる文字数が低下し、知覚認知に要する時間が長くなる。

※サッカード・・・眼球が小刻みに、高速で動く運動を意味する語。文章を読んでいて次の行に移る際など、対象を追うために意識的に行われることもあれば、動揺している際などに無意識的に行われることもある。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbfsa/11/1/11\_KJ00005647932/\_pdf/-char/ja

**３**、若年健常者における、テキストリンクの設計として、文字高さが4.00mm、文字高さに対する行間の比率が1.0の時に、正確性の観点から操作性は向上する。（母指による片手操作）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/transjsme/85/870/85\_18-00430/\_pdf/-char/ja

４、背景色と文字色

方法　重要な情報を持っているリンク色であるblueの文字列の背景を様々な色と比較し点数化して、データを抽出する。

結果　白色背景においてblueの文字の視認性が年代に関係なく高かった。

結果　コントラスト（対比）の上昇とともに視認性は高くなる。

　　　→若年者はコントラストが同程度でも色度の違いにより視認性が大きく異なる場合　　　　　　　　　　　　がある。

結果　blueの文字の視認性が高くなる背景色は、無彩色を含むCyan,Green,Yello系

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ieejeiss/127/7/127\_7\_995/\_article/-char/ja

５、明度

結果　背景色と文字色の明度差が120.3以上とすることで視認性が高い。（黒色背景の場合でも）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/pacbfsa/25/0/25\_175/\_pdf/-char/ja